

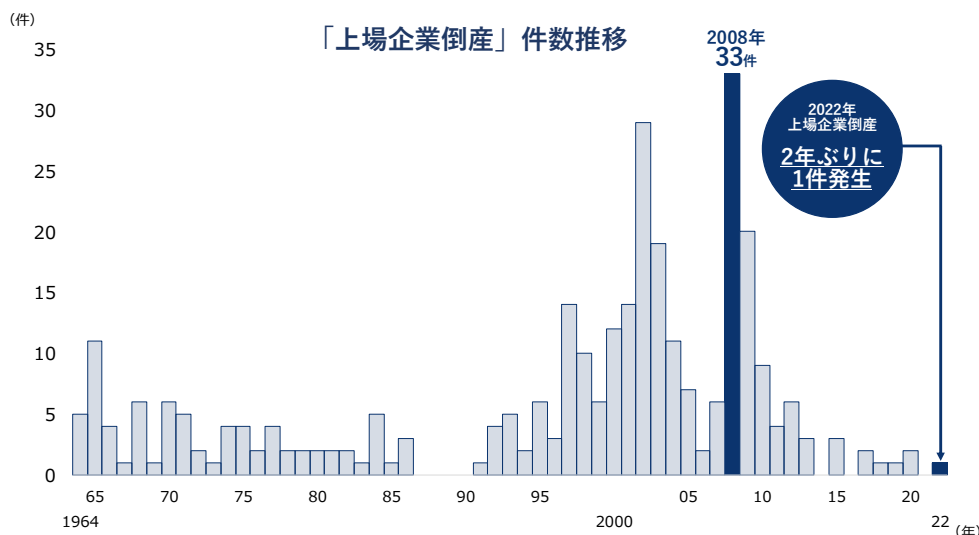
特別企画：全国「上場企業倒産」動向調査（2022年）

上場企業の倒産 1 件、2 年ぶりに発生 ～ 私的整理へ移行済み、今後発生は少数に ～

東証スタンダード上場のバイオベンチャー「テラ」（2022年8月、破産）

2022年の上場企業倒産は、29日17時時点で1件となっている。2020年以来2年ぶりの発生となったほか、1件にとどまったのは2019年以来3年ぶり。倒産したのは当時東証スタンダードに上場していたバイオベンチャーのテラ(株)（東京都）で、8月に破産手続き開始決定を受けた。同社はコロナ治療薬の開発などを行っていたが、インサイダー取引など金融商品取引法違反などのトラブルが発生。研究開発費負担が重いなか、第三者割当増資などの資金調達がままならなくなり、資金繰りに行き詰まって事業継続を断念した。

上場企業倒産はリーマン・ショックが起きた2008年（33件）をピークに減少傾向が続いており、政府が2023年にも通常国会への提出を目指すとする「私的整理の多数決制導入」が実現することでさらに強まる可能性もある。ステークホルダー（利害関係者）を多く抱える上場企業では、混乱やブランドイメージの毀損を最小限にとどめるために法的整理（倒産）回避の動きがさらに進むことが予想され、2000年代前半や2008年のリーマン・ショック時に多発した「上場企業倒産」はほとんど発生しなくなるとみられる。



【注1】 対象は負債1000万円以上の法的整理が対象。なお、1999年以前は私的整理を含む 【注2】 2022年の累計は、12月29日17時時点のもの

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 かみにし ともひろ 上西 伴浩
 【問い合わせ先】 ないとう おきむ いいじま だいすけ 内藤 修（飯島 大介） 03-5919-9341（直通）
 情報統括部：tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。